

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
105-45	中学校	道徳	道徳	第3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
116 日文	道徳 116-93	中学道徳	あすを生きる	3
	道徳 116-94	中学道徳	あすを生きる	3 道徳ノート

1. 編修の基本方針

心が動く、その先へ。

一人ひとりが前向きに生きられる、未来のために。

予測が難しい現代社会。新しい時代を生きる生徒一人ひとりが、あすの自分の生き方を前向きに思い描けるように。そして、誰一人取り残さない多様性を認め合う社会を創っていけるように。私たちは、生徒たちが「あすの自分と多様性を考え合う」ことができるように、この教科書を編修しました。

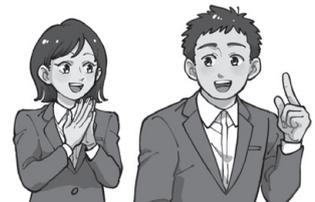
「教育基本法 第2条 教育の目標」を実現するために、次の基本方針を定めました。

基本方針

1

自分に自信がもてる教科書 (第2条 1、2)

- ①あすの自分の姿を前向きに思い描ける教材を取り上げています。
- ②成長する自分とその生き方を思い描き、3年間を通して自己肯定感が育めるよう、学年ごとに教材の選定や配列を工夫しています。



基本方針

2

一人ひとりを尊重し、多様性を認め合える教科書

(第2条 1、2、3)

- ①「いま」「これから」の社会の課題にしっかり対応した深い学びをサポートするため、テーマ設定を工夫し、コラムを充実させています。
- ②学ぶべきときに応じたテーマを配置することで、1年間の見通しがたてられるよう配慮しています。



基本方針

3

ともに考え合い、納得できる生き方が見いだせる教科書

(第2条 1、2、3、4、5)

- ①学びやすい紙面構成で、主体的・対話的で深い学びを実現できるよう工夫しています。
- ②考え合い、話し合うことで、ともに納得し自分の成長が実感できるよう工夫しています。

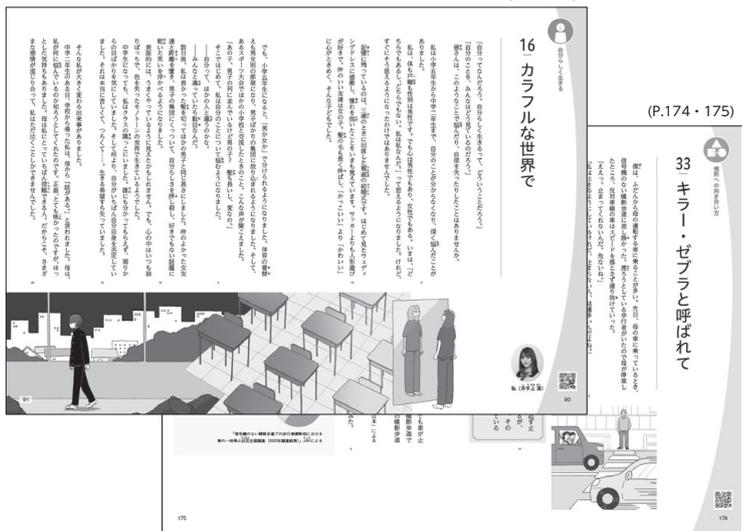


一人ひとりを尊重し、多様性を認め合える教科書

(第2条 1、2、3)

1 現代的・社会的課題に対応したテーマとコラム

これからの社会を創造していく生徒たちが、現代的課題に関わって自分の生き方を考えられるように、テーマを設定しコラムを配置しています。日常生活に生かし、希望をもって明るい中学校生活を送れるよう、他教科等との関連にも配慮しています。



テーマ

- いじめ** いじめを人間として許さない、誇りある生き方や集団の問題について考える内容を取り上げています。
- 情報社会** 情報活用能力を育成し、Society 5.0に向けたよりよいICT社会の担い手になれるように、情報モラルやデジタル・シティズンシップの内容を取り上げています。
- 自立と共生** キャリア教育や人権・共生を通じたウェルビーイングの実現に関わる内容を取り上げています。
- 環境と未来** 自然愛護や環境保全、社会の持続可能な発展に関わる内容を取り上げています。
- 安全な生活** 交通安全、生活安全、防災、食育などに関わる内容を取り上げています。

※これらのテーマは多様性の尊重とSDGsに関わっています。



(P.106・107)

(P.186・187)

テーマに対応したコラム

テーマに対応したコラム「視野を広げて」を用意しました。他教科や地域などに関連して、先生と生徒がより深く楽しく考え合える内容にしました。

また「伝統と文化」については巻末にコラムを設けています。



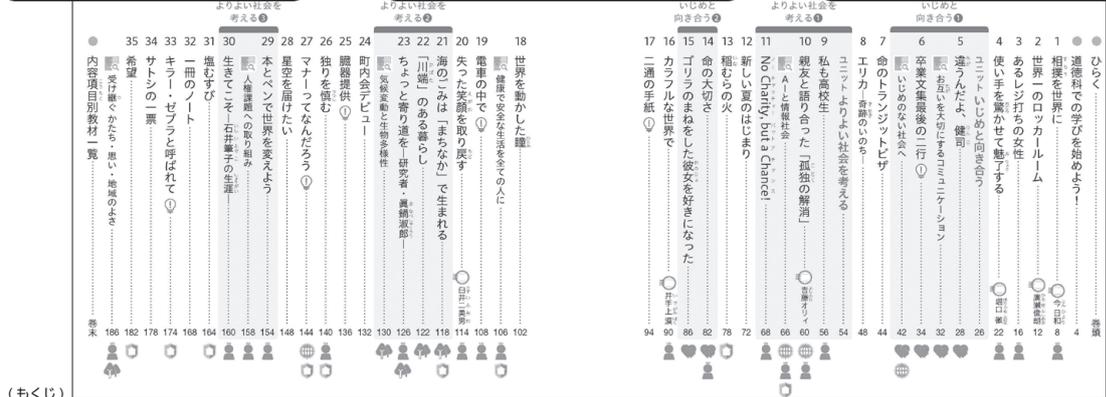
2 学ぶべきときに応じたテーマ配置

生徒が1年間の見通しをたて、主体的に取り組めるよう、発達の段階などを踏まえて身近な教材を選定し、各テーマを学ぶ必然性が感じられる適切な時期に設定しています。

1～3月…1年間のまとめや、将来の生き方を見ずえた教材を配列。

8～12月…充実した集団生活を送る中で、友情や社会参画に関わる教材を配列。

4～7月…最高学年としての自覚をうながす、生き方やいじめ防止に関わる教材を配列。



(もくじ)

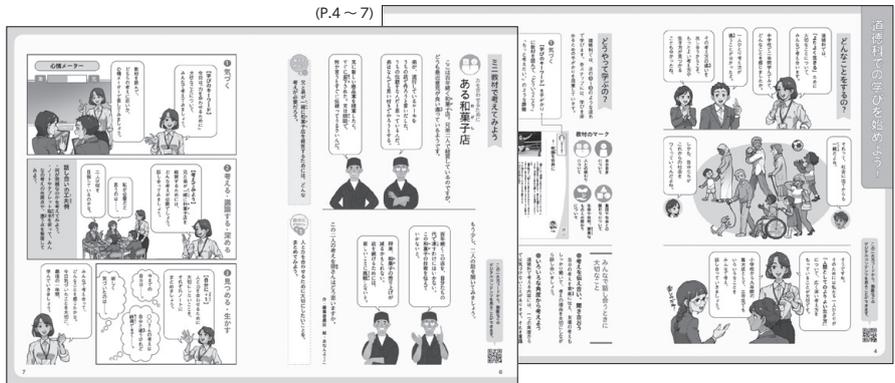
ともに考え合い、納得できる生き方が見いだせる教科書

(第2条 1、2、3、4、5)

1 学びの見通しがもて、主体的・対話的で深い学びが実現できる紙面構成

オリエンテーション

- ・漫画形式で楽しく道徳科の学びの概要を知り、1年間の学びの見通しをもつことができます。
- ・ミニ教材で、これからの道徳科の学びを体験することができます。



3つのステップ

- ・全教材で「3つのステップ」の学習要素を設け、学習の流れが見えるようにしました。
- ・友達や先生と一緒に考え合い、豊かな対話が生まれることで、ともに納得し合える話し合いになり、学んだことを前向きに生かせるよう工夫してしています。

(P.72・73、P.76・77)

①気づく

学びのキーワード

議論のスタートとして設定。授業の「めあて」としても活用できます。

②考え、議論する、深める

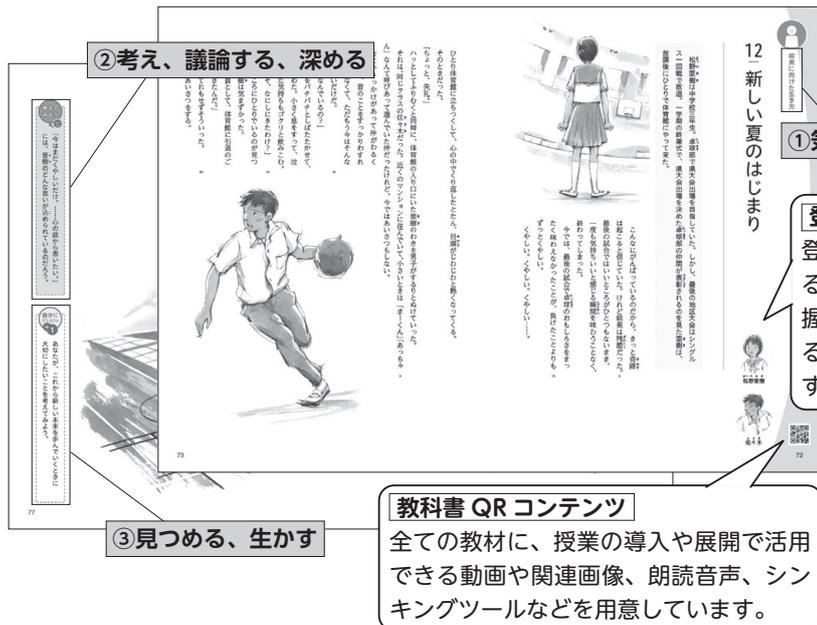
考えてみよう

考え議論し、ねらいに迫るための発問例です。

③見つめる、生かす

自分に+1

この授業で学んだことを前向きに生かすための発問例です。



2 ともに納得し自分の成長が実感できる工夫

「個別最適な学び」「協働的な学び」を実現し、ともに納得解を見つけることで自分の成長を実感できるよう工夫しています。

学びを深めよう

- ・「問題解決的な学習」「体験的な学習」などに適した教材には、教材末に「学びを深めよう」を設け、ともに考え合うことで納得解を得られるようにしています。

(P.139)



別冊ノート

- ・別冊ノートを併用することで言語活動が充実し、自分の考えを記録し積み上げていくことで、成長が実感できるようにしています。

(ノート P.3)



2. 対照表

教育基本法第2条に示された教育の目標に基づき、幅広い知識と教養、豊かな情操と道徳心、伝統と文化を大切に
する心、自己を見つめ社会を創造する豊かで広い公共の精神を育むため、多様な教材の選択と構成に意を用いました。

第2条との 対照	構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1、2号	巻頭 ページ	もくじ、オリエンテーション	もくじでは、教材の配列や教科書の使い方などを生徒にわかりやすく示しました。	p.2～3
第1、2号			オリエンテーションページでは、「 道徳科での学びを始めよう! 」で学習内容やそのねらいなどを端的に記しながら「 ミニ教材 」を設けて学習方法を示すことで、1年間の学習の支援になるよう配慮しました。	p.4～7
第1号	本 文	共通事項	教材で扱う題材は、発達の段階を踏まえながら、家庭、学校、社会の幅広い分野のものをバランスよく配列しました。	全 般
第1～5号			学習指導要領への準拠性を重視し、道徳的価値に関する全ての内容項目を扱いつつ、 重点に設定した内容項目を複数回 取り上げました。	全 般
第3～5号			道徳教育における現代的な課題を重視し、 いじめの防止、生命の尊重、社会参画、伝統と文化、国際理解 などの内容や道徳的価値を取り扱う教材に重きをおきました。	全 般
第1号			正確な記述で、生徒が読み取り易く、教師にとっても指導しやすい紙面構成としました。	全 般
第1～3号		学びを 深めよう	問題解決的な学習 に資するように、道徳的な問題を主体的に捉え、多面的・多角的に考えていくステップを例示し、道徳性を養うための手引きとなるページを提示しました。	p.40～41 など
第1～3号			体験的な学習 に適している教材には、動作化や役割演技などの体験的な方法を通して自分との関わりで道徳的価値についての考えを深めるためのページを提示しました。	p.112～113 など
第1～5号	コラム	視野を広げて	教材で示される内容を他教科等と関連づけながら、より多面的、多角的に考えることができるページとして、関係する教材の前後に配置しました。	p.32～33 など
第1～5号	コラム	あすへの メッセージ	教材理解を深め、生徒一人ひとりの生き方を応援する資料として、取り上げた人物の生の声や補助資料を掲載しています。関係する教材の後に配置しました。	p.11 など
第1、2号	別 冊	ノート	別冊としてノートをつけ、書く活動を通して生徒が思考をより深めることができるようにするとともに、教師の指導や評価にも生かすことができるよう工夫しました。	別 冊

3. 上記以外に特に意を用いた点や特色

■特別支援教育の視点から見た配慮

すべての生徒が等しく学べるように、特別支援教育の観点から専門家に校閲を依頼し、カラーバリアフリーを含めたユニバーサルデザインなど、次のような合理的配慮をしました。

- ① UDフォント（ユニバーサルデザインに対応した書体）を用い、文字の大きさ、罫線や囲みの使い方、色遣いなど、レイアウトを工夫し、読みやすくしました。
- ② 中学校で学習する漢字には、すべて振り仮名をつけました。

■人権上の配慮

人権尊重の観点から、教材や挿絵はジェンダーやSOGIESC（性的志向・性自認・身体的性・性表現）を含めた多様性に留意して作成し、人権・法教育の専門家に校閲を依頼しました。

■保護者への配慮 —— 家庭、地域との連携

「道徳科」がどのような教科なのか、またこの教科書でどのようなことを学ぶのかを、オリエンテーションページで丁寧示すことで保護者の理解にもつなげ、学校・家庭・地域の連携を支援するようにしました。

■地域社会への配慮 —— 地域に根差した教材の選定・開発

日本の各地域の魅力的な教材を取り上げ、生徒が実感を伴って学習できるようにしました。

■環境への配慮 —— 環境にやさしい教科書作り

地球環境への負荷に配慮して、教科書用紙には再生紙を使用し、植物油インキを用いて印刷しました。

■生徒への配慮 —— 持ち運びの負担を軽減

生徒の負担を軽減するため、ページ数は必要最小限に抑え、教科書用紙の軽量化を図りました。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-45	中学校	道徳	道徳	第3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号		教科書名	
116 日文	道徳	116-93 116-94	中学道徳 中学道徳	あすを生きる 3 あすを生きる 3 道徳ノート

1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色

1

いじめの問題に正面から向き合う

いじめについて自分たちの問題として主体的に考え議論できるよう、多様な教材やコラムをユニット化し、年間で複数配置しています。

いじめと向き合う ユニットの構成 (例 いじめと向き合う①)

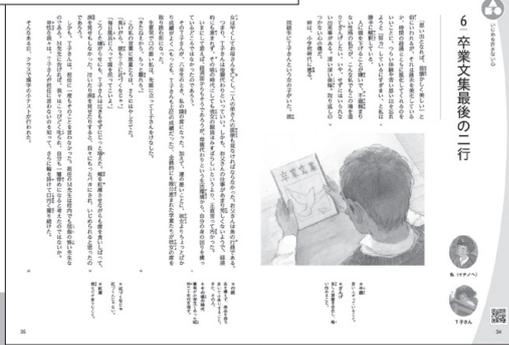
いじめを間接的に扱った教材

(P.28・29)

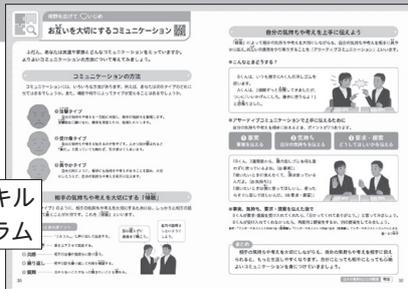


いじめを直接的に扱った教材

(P.34・35)



(P.32・33)

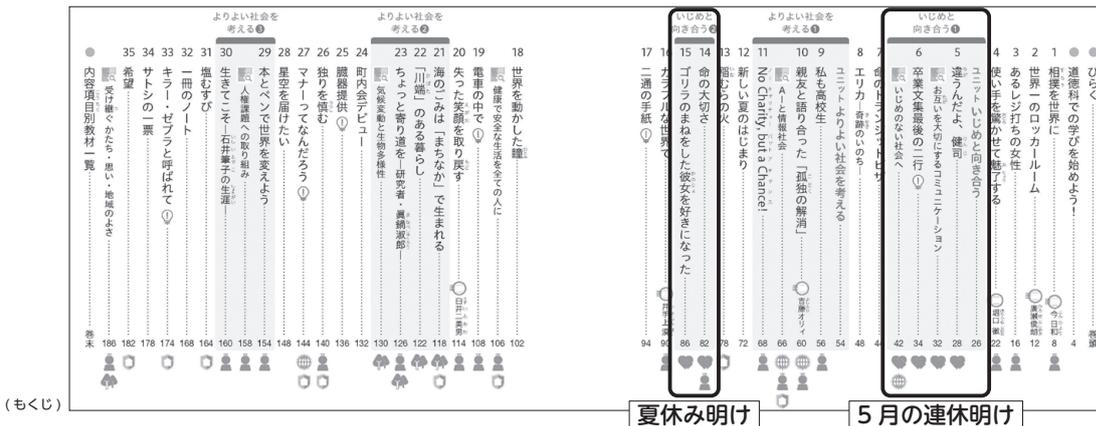


(P.42・43)



「いじめと向き合う」ユニットは、5月の連休明けと夏休み明けの、生徒の人間関係が変化しやすい時期に配置し、継続していじめの未然防止に取り組めるようにしています。

いじめを未然防止するためのユニット配置時期



よりよい社会について考え合う

これからの社会を担う生徒たちが、他者への共感性を高め、多様性を認め合うよりよい社会の実現について自分のこととして考え取り組んでいけるよう、個々や社会の幸せを目指すウェルビーイングを念頭にユニット化しました。「自立と共生」「環境と未来」のテーマに沿ってユニットを構成しています。

よりよい社会を考える ユニットの構成

自立と共生

キャリア教育や人権・共生を通じたウェルビーイングの実現に関わる教材を取り上げてユニット化しました。



(P.60・61)

情報社会について考えるコラム



(P.66・67)

将来の自分の生き方について考える教材



(P.56・57)

11 No clearly but a chance



(P.68・69)

環境と未来

自然愛護や環境保全、社会の持続可能な発展に関わる内容を取り上げてユニット化しました。

自然との共生について考える教材



(P.122・123)



(P.130・131)

環境保全について考えるコラム

ごみ問題を考える教材



(P.118・119)

地球環境と人間について考える教材



(P.126・127)

また、ユニット以外にも多様性を踏まえて、人間としての生き方やよりよい社会について考えられる教材を配置しています。

集団生活について考える教材



(P.12・13)

多様な生き方を考える教材



(P.114・115)

よりよい社会について考える教材



(P.144・145)

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現する

別冊ノートと「教科書 QR コンテンツ」

生徒一人ひとりの学びを支える別冊ノートと教科書 QR コンテンツを活用することで、「個別最適な学び」や「協働的な学び」を実現できるようにしています。

1 自由に使い、成長を実感できる別冊ノート

- ・別冊ノートは、1教材1ページで構成、発問は自由に書きこむことができます。
- ・ノートに自分の考えなどを書くことで、道徳科の学びを積み重ね、生徒が自らの成長を実感できる1冊にまとまります。

○生徒が自ら考え、議論し、新しく発見した道徳的価値の理解や、他者から学んだ内容を書き留めることで、協働的な学びが実現できます。

○学期ごとに振り返り欄を設け、自らの成長を実感できるようにしています。

- ・これにより先生が生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握できるようにしました。



(ノート P.38～40)



(ノート P.3)

2 教材理解を深める「教科書 QR コンテンツ」

- ・全ての教材とコラムに、授業の導入や展開などで活用できるデジタルコンテンツを用意しています。生徒が興味・関心をもって学習に取り組むことができます。
- ・さまざまな授業方法に合わせて、考え、議論するツールとして活用できます。

【教科書 QR コンテンツの内容】

動画、参考資料、朗読音声、ワークシート、心情メーター、シンキングツール など

教科書本冊、別冊ノート、教科書 QR コンテンツから広がる学び

二次元コードから立ち上がる教科書 QR コンテンツは、教科書本冊からでも別冊ノートからでもアクセスできます。授業支援システムなどを介して、幅広い活用が可能です。

教科書本冊 (P.22～23)

朗読音声

心情メーター

ワークシート

シンキングツール

動画

参考資料

別冊ノート (ノート P.5)

教科書の特色表 ※教科書の特色を簡潔にまとめてあります。

基本事項	準拠性	教育基本法との関連	<ul style="list-style-type: none"> 教育基本法第2条の「教育の目標」を達成するため、同条第1項から第5項に示されるような人格の育成を目指した教科書として編修しています。 ①広い知識・教養と豊かな人間性②人間尊重の精神と自主自律、勤労の精神③公正公平と公共心④自然愛護、環境保全⑤伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度と国際理解、親善の心
		学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示された道徳科の目標の実現を目指し、指導すべき事項として示された内容項目は全て扱い、さらに重点事項や配慮・留意事項を重視しています。
	公正性	<ul style="list-style-type: none"> 教材の選定、記述に当たっては、内容が一面的、断定的な見解に偏っていないか、広く受容されているかを十分に吟味・検証しています。 	
	正確性	<ul style="list-style-type: none"> 検定基準等に照らして的確な内容であることを検証しています。 	
内容・系統性	発達段階への配慮 (小、中、高連携)		<ul style="list-style-type: none"> 生徒の発達の段階を考慮した内容とし、当該学年1年間、中学校3年間を見通した系統性に配慮しました。 「小、中、高」の連携にも配慮し、自己肯定感を育み、国家・社会の一員として社会参画の意識を育てる内容としました。(p.102～105、p.178～181など)
	配列・分量・他教科等との関連		<ul style="list-style-type: none"> 生徒の発達の段階に応じて、内容と文字量を考慮しました。 他教科の学習や、様々な活動との関係を考慮して配列しました。 学習計画や見通しが立てやすいよう一覧性のあるもくじにしました。
	学習意欲・主体的な学習態度の育成		<ul style="list-style-type: none"> 生徒が感動と共感をもって、興味・関心を高め学習に取り組めるよう、生命の尊厳、自然保護、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題など、多様な題材を教材として用いました。 生徒が自主的、主体的に学びやすいよう、学びのキーワードと発問例を教材ごとに示しました。 別冊ノートで学習を振り返り、生徒自身が中学校3年間の成長を実感できるようにしました。
	多様な学習の実現		<ul style="list-style-type: none"> 多様な学習に対応できるよう、「問題解決的な学習」「体験的な学習」などのページには「学びを深めよう」を例示しました。(p.100・101、p.112・113など)
	重点課題	現代的・社会的課題への対応 (いじめ・情報モラルほか)	<ul style="list-style-type: none"> 人間尊重の精神と生命の尊重を基本に、「いじめの防止」「安全の確保(防災・防犯・交通安全)」「情報モラル」のほか、ジェンダーやSOGIESCなどの現代的、社会的課題への対応を意識し教材、紙面を構成しました。(p.26～43、p.174～177、p.60～67、p.90～93など)
		伝統と文化の尊重と国際理解	<ul style="list-style-type: none"> 伝統と文化の尊重と国や郷土を愛する態度の育成を重視するとともに、他国の文化にも興味をもたせ、国際理解・親善に関心を促す教材を用意しました。(p.22～25、p.44～47など)
社会の持続可能な発展 (SDGs)		<ul style="list-style-type: none"> 環境、貧困、人権、平和、開発など、社会の持続可能な発展に関わる問題についても、発達の段階に即して道徳的な観点から取り扱いました。(p.154～159など) 	
その他	家庭学習への配慮		<ul style="list-style-type: none"> 別冊ノートは家庭学習との連携も図れるようにしました。 道徳科の学習のねらいや学び方を保護者にも伝わりやすくすることで、学校、家庭、地域の連携を示唆しました。
	地域教材の活用・開発		<ul style="list-style-type: none"> 生徒にとって特に身近に感じられる、地域の特色を生かした地域教材の活用、開発にも配慮しました。
	資料活用・情報活用・ICT活用		<ul style="list-style-type: none"> 教科書と連携して使えるデジタル教材やコンテンツを提供する体制を整えることで、学習効果をより高められるよう配慮しました。
	特別支援教育の観点からの配慮 (CUD など)		<ul style="list-style-type: none"> 全ての生徒が等しく学べるよう、カラーバリアフリー、ユニバーサルデザインなどを採用し、特別支援教育の観点に配慮しました。 拡大教科書を制作する予定です。
	判型		<ul style="list-style-type: none"> B5判を採用し、付属のノート(B5判)と併せて取り扱いやすくしました。
	文字・印刷・製本		<ul style="list-style-type: none"> 中学校で学習する漢字には、全てに振り仮名をつけました。 文字は、ユニバーサルデザインに配慮し開発されたUDフォントを使用しました。 本文用紙は十分な強度を有する軽量化した再生紙を使用し、表紙にはコート紙を用いて美感のあふれた外観にする予定です。 植物油インキを用いて印刷しました。 製本は堅牢なあじろ綴じとし、開きやすくしました。

2. 対照表

第3学年

図書構成				学習指導要領の 内容項目とキーワード	配 当 時 数	配当学期	
番号	頁	テーマ、題材	教材名			一 学 期 12 時 間	前 期 16 時 間
	6-7	伝統と文化	ある和菓子店	B-(9)	相互理解、寛容		
1	8-11	自立と共生 伝統と文化 スポーツ	相撲を世界に	A-(4)	希望と勇気、克己と強い意志	1	一 学 期 12 時 間
2	12-15	スポーツ	世界一のロッカールーム	C-(15)	よりよい学校生活、集団生活の充実	1	
3	16-21	自立と共生 社会参画	あるレジ打ちの女性	C-(13)	勤労	1	
4	22-25	自立と共生 伝統と文化	使い手を驚かせて魅了する	C-(17)	我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	1	
5	28-31	いじめ	違うんだよ、健司	B-(8)	友情、信頼	1	
6	34-41	いじめ	卒業文集最後の二行	C-(11)	公正、公平、社会正義	1	
7	44-47	生命の尊厳 国際理解 先人の伝記	命のトランジットビザ	C-(18)	国際理解、国際貢献	1	
8	48-53	生命の尊厳 国際理解	エリカー奇跡のいのち	D-(19)	生命の尊さ	1	
9	56-59	自立と共生	私も高校生	A-(1)	自主、自律、自由と責任	1	
10	60-65	情報社会 自立と共生 生命の尊厳 社会参画	親友と語り合った「孤独の解消」	B-(9)	相互理解、寛容	1	
11	68-71	自立と共生 社会参画 先人の伝記 スポーツ	No Charity, but a Chance!	C-(12)	社会参画、公共の精神	1	
12	72-77		新しい夏のはじまり	A-(3)	向上心、個性の伸長	1	
13	78-81	安全な生活 生命の尊厳 伝統と文化 先人の伝記	稲むらの火	C-(16)	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	1	
14	82-85	いじめ 自立と共生 生命の尊厳	命の大切さ	C-(11)	公正、公平、社会正義	1	
15	86-89	いじめ	ゴリラのまねをした彼女を好きになった	B-(8)	友情、信頼	1	
16	90-93	自立と共生	カラフルな世界で	A-(3)	向上心、個性の伸長	1	
17	94-101	法教育	二通の手紙	C-(10)	遵法精神、公德心	1	
18	102-105	国際理解 先人の伝記	世界を動かした瞳	D-(22)	よりよく生きる喜び	1	
19	108-113	自立と共生	電車の中で	B-(6)	思いやり、感謝	1	
20	114-117	自立と共生 社会参画 スポーツ	失った笑顔を取り戻す	C-(13)	勤労	1	
21	118-121	環境と未来 安全な生活 社会参画 国際理解	海のごみは「まちなか」で生まれる	C-(12)	社会参画、公共の精神	1	
22	122-125	環境と未来 社会参画 伝統と文化	「川端」のある暮らし	D-(20)	自然愛護	1	
23	126-129	自立と共生 環境と未来	ちょっと寄り道を一研究者・眞鍋淑郎	A-(5)	真理の探究、創造	1	後 期 19 時 間
24	132-135	社会参画	町内会デビュー	A-(1)	自主、自律、自由と責任	1	
25	136-139	生命の尊厳	臓器提供	D-(19)	生命の尊さ	1	
26	140-143	自立と共生 安全な生活	独りを慎む	A-(2)	節度、節制	1	
27	144-147	情報社会 安全な生活 社会参画	マナーってなんだろう	B-(7)	礼儀	1	
28	148-153		星空を届けたい	D-(21)	感動、畏敬の念	1	
29	154-157	自立と共生 社会参画 国際理解	本とペンで世界を変えよう	C-(18)	国際理解、国際貢献	1	
30	160-163	自立と共生 生命の尊厳 先人の伝記	生きてこそ—石井筆子の生涯—	D-(22)	よりよく生きる喜び	1	
31	164-167	安全な生活 社会参画	塩むすび	B-(6)	思いやり、感謝	1	
32	168-173		一冊のノート	C-(14)	家族愛、家庭生活の充実	1	
33	174-177	安全な生活 法教育	キラー・ゼブラと呼ばれて	C-(10)	遵法精神、公德心	1	
34	178-181	社会参画	サトシの一票	C-(12)	社会参画、公共の精神	1	
35	182-185	安全な生活 生命の尊厳	希望	D-(19)	生命の尊さ	1	
計						35	

〔備考〕表の「学習指導要領の内容項目とキーワード」は学習指導要領第3章第2の内容についてを表す。Aは「主として自分自身に関する事」、Bは「主として人との関わりに関する事」、Cは「主として集団や社会との関わりに関する事」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事」を示す。